



八丈島ぐらし通信 9

2022年5月発行



今月の話題

八丈高校の島留学

八丈島ってどんな島？

花と緑の町

5月の歳時記

八丈島を象徴する魚「ハマトビウオ」

八丈島と言えば海の幸。その代表格は「春トビ」として親しまれるハマトビウオです。八丈島近海は日本の豊かな漁場に例えられ海の幸に恵まれてきました。「春とび」が漁港を賑わし、重要な産業として島を支えました。1950年代～80年代には300万尾～450万尾の水揚げ量を記録し、八丈島の代表漁として愛され地域を潤しました。1990年代以降は年々漁獲量が減少し、2020年は830尾、21年は10.3万尾でした。原因は難しいものの「黒潮の流れが変わったことや海水の栄養素の変化が影響している可能性もある」（東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所）と教えて頂きました。

それでも、島の春は「春トビ」が春を告げる魚。かつての豊漁が戻ってくることを信じて「トビが捕れたヨ！」の声に嬉しさがこみ上げてきます。（理事 内山江差夫）



今月の島ごはん

西野さんの明日葉天ぷら



明日葉は茎を切って葉の部分に小麦粉を軽くまぶします。卵と冷水を混ぜ合わせ小麦粉に加えてさっくり混ぜます。明日葉をこれにつけて油で揚げます。

【サクサク揚げるポイント】

- ・衣をつけすぎない。
- ・揚げた面が固まるまでひっくり返さない。
- 箸で触って柔らかければ固まるまで待ちます。

明日葉粉末に塩を加えた明日葉塩を添えてもおいしいです。



八丈高校の 島留学

前号に続き八丈高校の島留学を考えます。八丈高校には、平成29年度4名、平成30年度7名、令和元年度3名、令和2年度4名、令和4年度7名の島外出身生徒が入学しました。内訳は、八丈町と東京都教育委員会のホームステイ制度6名、保護者と移住7名、近親者宅に寄留1名、定時制課程で就学就労して自立を目指すIターン11名、合計25名です。ホームステイ制度はホストのなり手が少なく、この枠の拡大が難しい状況ですが、希望者が多いホームステイの枠を広げることが八丈高校の生徒数増の鍵と思われます。全日制の副校長先生にお話を伺いました。



都立八丈高等学校副校長
町谷 光博先生

はじめに

成年年齢が18歳に引き下げられ、主権者教育等、社会的な自立・自律に向けた教育が高等学校の大きな役割となります。特に高校卒業後に親元を離れる生徒が多い八丈高校には重要だと考えています。

自分自身の子育て

わたしは自分の4人の子どもを家から高校へ通わせず、4人とも外へ出しました。うちの子は寮でしたが、親元を離れる経験が自立するのに大事だと思っています。親元を離れ、自己責任で自分で考えて行動する。これが子どもを成長させる重要な時間となります。家内や祖父母は反対しましたが、最終的には家族も喜ぶ結果になりました。

良い自立のために子供を手放す

4人とも反抗期がありませんでした。息子とぶつかることもなく、娘に嫌われることもなく、帰省の度に家族で仲良く過ごすことができました。それぞれに良い自立ができています。八丈高校の島留学・ホームステイ制度は、生徒が大きく成長するチャンスです。

子供が自分で生活できる環境

自分自身の経験を踏まえて、八丈島には島留学に適した環境があると考えています。羽田から1時間足らずなので保護者は日帰りで様子を見に来ることもできます。免許を持ってない高校生が生活するための学校とお店とバイト先が家から徒歩圏内にあります。他の島ではなかなかこれがないかもしれません。八丈島には15歳ぐらいの子どもが自分で生活できる環境があるのです。

地域教育力が八丈島にはある

八丈島は情島で、地域の方々が温かく見守ってくださる環境もあります。全日制の副校長に就任する前に定時制の副校長を4年間務め、それを実感しました。地域の生徒を気にかけてくださる方が八丈島にはたくさんいます。都心にはない地域教育力が八丈島にはあり、地域と学校が一体となって子どもを育てるのが可能な島だと思っています。そこが強みです。

仕組みを見直す必要性

他の島には寮がある高校もありますが、八丈島は環境が整っているので、新たに寮を建設しなくても空き家施策やホームステイで十分に受け入れが可能です。ただし、ホストにとって同じ生徒を3年間お預かりするのは難しい面もあり、仕組みを考え直す必要があります。海外留学のように、半年や1年毎にホームステイ先を変えられる仕組みが理想的です。そのためにはネットワーク作りとホスト登録の仕組みが必要です。島民の皆様には空き家のご提供をお願いいたします。

ホームステイは家族の一員

1日3食の提供がホスト側のハードルを上げています。生徒は家族の一員として家事を手伝えれば良いでしょう。ホストが忙しいときは食事を自分で用意する等の相互協力が必要です。それができる生徒を迎え入れることができれば、ホストの負担が減り、間口が大きく広がります。自律的な生活を目指して3年間チャレンジしたい生徒を選ぶ必要があります。これは保護者の皆様にご理解いただきたいところです。

若者と高齢者の融合

高齢化が進み、島の中には若者がいない。若者で島に來たい者がいれば、これを融合できたらお互いに良い結果が生まれます。若者は高齢者を助けて動き、若者は地域の教育力で育つことができます。これができる制度を確立したいと願っています。

外から生徒が来るメリット

島の子たちは卒業したら外へ出ていくので、高校時に外から来る生徒たちと過ごすことで、刺激を受けて抵抗力をつけることができます。また、交流することでお互いに八丈島の豊かさと東京都全体の豊かさがわかり、立体的に物事を見られるようになります。間違いなく相乗効果が得られます。現在はEK（園芸・家政）組の島留学の比率が高いのですが、これが学校全体になれば、かなり強い学校ができるのではないかと考えています。



ホームステイの生徒・ご家族とホスト

八丈島ってどんな島!?

花と緑の町

八丈島では花と緑の町づくりのため、「花いっぱい運動」に取り組んでいます。平成19年から東京都と八丈町の予算で、坂上地区の自治会が花壇や街路樹の管理を行い、島内の緑化推進に努めています。八丈島では年間通して色とりどりの花を見かけることができます。5月はアマリリスやテッポウユリ、6月は雨の風景に美しいアガパンサスが治道を彩ります



今号では島内の花苗販売についてご紹介します。
花と緑の町づくりにご家庭からご参加ください。



切り花も販売しています!

えこ・あぐりまーと(中之郷)

4~5月 マリーゴールド、白妙菊、マーガ、オステ

6~9月 ポーチュラカ

12~3月 ビオラ、パンジー、ストック、ミニ水仙、
ノースポール、葉ボタン、マーガレット、
オステオスペルマム、ゼラニウム

お問合せ 04996-7-1808



西野園芸(三根新墓)

4~5月 サルビア、ニチニチソウ、ガザニア、
マリーゴールド、インパチェンス、等

6月頃 ハナスベリヒユ(ポーチュラカ)

11月頃 パンジー、ビオラ

お問合せ 04996-2-5672



八丈高校園芸科

夏まつり(開催がない場合は校内)、八高祭で販売





スポンサー&サポーター 募集中！

詳細はQRコードから

スポンサー

会報誌やホームページへの広告掲載にて本会をご支援ください！

【会報誌広告掲載】1ヶ月 5,000 円、6ヶ月 25,000 円
【HP バナー広告掲載】6ヶ月 18,000 円、特典としてHP に記事広告を1本掲載致します。



サポーター

【特典】①会報誌『八丈島暮らし通信』を定期的にお届け致します。②移住者・島民の交流イベントをご案内致します。

【個人会員】どなたでもHPよりお申込み頂けます。年会費 3,000 円。

【法人会員】お申し込みは事務局まで。年会費 10,000 円。



ご寄付

ご寄付のみのご支援も承っています。

お振込先など詳細はQRコードからご覧ください。



移住のチューワ

by Hasne

移住6年目在宅ワーカーの島暮らしエッセイまんが



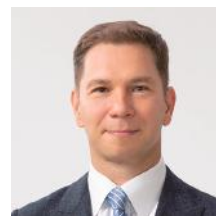
ウクライナ避難民に支援を！ チャリティーコンサート開催

八丈島に初めてきたのは7年前です。3年前には永郷に別荘を購入して東京との2拠点生活を送っています。私の父方の祖父母が、今般多大な被害を受けているウクライナのマリウポリ出身です。ウクライナには沢山の知り合いがあり、彼らのために様々な支援活動を行っています。

ウクライナにおける戦闘には、ウクライナの人々のみならず、世界中の多くの人々が心を痛めています。八丈島でもたくさんの方からウクライナを支援したい、そしてウクライナの文化、言葉、音楽に触れる機会が欲しいとお声を頂戴しています。今回、駐日ウクライナ大使館と協働で、八丈島でウクライナ文化をご紹介しますと同時に支援金を募るコンサートを開催する運びとなりました。ウクライナの人々は今まさに、皆様のお力を必要としています。ご協力よろしくお願いいたします。

八丈島ふるさと観光大使
アレクサンダー・ドミトレンコ 氏

外国法務弁護士
アシュアスト法律事務所・外国法共同事業所
<https://www.ashurst.com/ja-jp/people/alexander-dmitrenko/>



■ イベントでの募金の寄付先 ■

- ①日本ウクライナ友好協会KRAIANY
- ②PATHWAYS JAPAN
- ③八丈島に來島される避難民の方々への支援

皆さまからの寄付金は、全て【来日した避難民の方々への支援金】として大切に活用させていただきます。

八丈島チャリティーコンサート

ハチジョウ LOVES Ukraine

カテリーナ・グジー

ウクライナ民族楽器「リウター」奏者
ウクライナ・プルーシヤ
歌手、指揮者、作曲家、編曲家、音楽家
現在、日本に在住するウクライナ難民の一人として、国内外のさまざまなコンサートで
公演活動中。

八丈島から、ウクライナへエールを

We Stand With Ukraine.

出演者：カテリーナ・グジー / 八丈太鼓よれ会 / 民族芸能かもがわ会 / 藤澤順 / 他

5/28 14:00~15:30
八丈町多目的ホール おじゃれ

11:00~14:00
お子さま向けワークショップ開催！
島中のキッズセンター大集合！！
島人アコースティックライブ開催！

募金振込先 | みずほ銀行 八丈島特別出張所 (店番号 895)
普通 3003725
NPO法人八丈島移住定住促進協議会

主催：NPO法人八丈島移住定住促進協議会 後援：八丈町、八丈町教育委員会、八丈島文化協会 協賛：ANA

発行元・文責

NPO法人八丈島移住定住促進協議会

企画・編集：畑中 由子 デザイン：ハスネWebDesign

TEL 070-8310-7405 (営業時間 10 時～ 18 時)

MAIL 8joiju@gmail.com

ADDRESS 東京都八丈島八丈町三根 4906-3 (みんなのひみつ基地内)

URL <https://hachijoiiju.com/>